



シェルは

頑丈な方がいい

アライは多くのトップレーサーをはじめとする様々な転倒例を、過去何十年にわたり検証しています。だからこそ、シェルはヘリまで頑丈で、その分緩衝ライナーを柔らかくして頭を優しく包み込む基本構造を追及してきました。

写真中央のラハイトSRステラ頂点部の衝撃は、転倒後バイクがヘルメットに激突し、ステップが突き刺さった痕です。頑丈な



シェルが頭を守っています。

シェルの強度を確認する耐貫通試験、アライのスネル規格モデルは、スネル規格よりもさらに厳しい試験方法を用いて確認しています。耐貫通試験の要求がないECE規格に適合させたヨーロッパ向け輸出モデルにおいても、あえて厳しい耐貫通試験を課しています。

アライの設計基準は、単に規格だけではなく、多くのライダーを助けてきた、数多くの転倒例の積み重ねにより築き上げられているからです。